

中国知的財産権

ニュースレター



中国国際貿易促進委員会特許商標事務所

2021年第2号(全72号)

2021年2月26日



〒100031 中国

北京市西城区復興門内大街 158 号

遠洋大厦 10 階

TEL : +86-10-66412345

FAX : +86-10-66415678/10-66413211

E-MAIL: mail@ccpit-patent.com.cn

〒107-0052 日本

東京都港区赤坂 1-9-13

三会堂ビルディング 3 階

TEL: +81-3-5572-6686

FAX: +81-3-5572-6687

E-MAIL: Tokyo@ccpit-patent.com.cn

www.ccpit-patent.com.cn



目次

中国国家知識産権局が2020年度の主な統計データを発表.....	2
2020年の北京裁判所の知的財産権係争審理活動報告.....	4
最高検が知的財産権検察オフィスを順次設置.....	5
中国国家林草局 2020年植物新品種申請1047件を受理.....	6
AI・IoT・ビジネスモデルの関連情報.....	7

中国国家知識産権局が2020年度の主な統計データを発表

中国国家知識産権局は1月22日、北京で2021年第1四半期の定例記者会見を開き、中国の専利、商標、地理的表示、集積回路レイアウトに関する2020年の年間統計データと、それらのデータが反映する中国知的財産権事業の発展の新たな動向と特徴を発表した。

統計データによると、2020年に中国知的財産権の主要指標は予期した目標に達し、知的財産権事業は新たな段階に入った。

専利について、中国の発明専利権付与数は53.0万件であった。2020年末現在で、中国国内（香港・マカオ・台湾を除く）の有効発明専利数は221.3万件であり、1万人あたりの発明専利保有数が15.8件に達し、中国「第十三次五カ年計画」の『綱要』での12件という目標を上回った。

PCT国際出願の受理数は7.2万件で、このうち中国出願人によるものは6.7万件であった。

中国の実用新案権付与数は237.7万件、意匠権付与数は73.2万件であった。また、専利拒絶査定不服審判の審決数は同期比28.9%増の4.8万件であり、無効審判の審決数は同期比34.1%増の0.7万件であった。

商標について、中国の商標登録数は576.1万件であった。中国出願人によるマドリード国際登録出願は7553件であった。

商標異議申立の審査終了数は同期比64.7%増の14.9万件であった。各種商標審判の審理終了数は同期比7.8%増の35.8万件であった。

地理的表示について、地理的表示製品の登録申請10件を受理し、地理的表示製品6点を承認し、地理的表示製品専用標識使用企業1052社、地理的表示商標登録765件を認可した。2020年末現在で、認可された地理的表示製品は累計2391点、地理的表示製品専用標識使用企業は累計9479社、地理的表示商標登録件数は累計6085件である。

集積回路レイアウトについて、集積回路レイアウト登録申請は同期比72.8%増の14375件で、証書交付件数は同期比77.3%増の11727件であった。

知的財産権の保護と活用について、全国の知的財産権部門が専利権侵害係争行政裁決案件4.2万件以上を処理した。知的財産権保護の社会満足度は80.05点で、初めて80点を上回った。

中国の専利、商標の質権融資は同期比43.8%増の12039件で、質権による融資総額は同期比43.9%増の2180億人民元であった。

紹介によると、2020年の統計データは次の四つの特徴を呈している。

一、知的財産権審査の品質と効率が更に向上した。

中国知的財産権審査の品質と効率の向上が着実に進み、高価値専利出願の審査期間が14ヶ月、発明専利出願の平均審査期間が20ヶ月、商標登録出願の平均審査期間が4ヶ月に短縮された。

二、中国国内発明専利は引き続き構造の最適化が進み、品質が更に向上した。

2020年末現在で、中国国内の有効発明専利のうち、10年以上維持されたものが28.1万件で、全体の12.3%を占め、前年より1ポイント上がった。企業のイノベーション主体としての地位が一層強固になり、有効発明専利を保有する国内企業は24.6万社で、前年より3.3万社増えた。このうち10.5万社のハイテク企業が有効発明専利92.2万件を保有し、国内企業の有効発明専利保有数の6割近くを占めている。

三、中国企業の知的財産権の海外進出が一段と強化された。

中国出願人によるPCT国際出願は同期比17.9%増、マドリッド商標国際登録出願は同期比16.1%増であった。関係統計データによると、2020年1月～11月、中国の知的財産権使用料の輸出額は同期比24.2%増の74.7億米ドルであった。上記から中国企業の知的財産権の海外への進出能力の向上が窺える。

四、「一带一路」沿線諸国の中国市場に対する信頼感が更に高まった。

「一带一路」沿線諸国が中国での専利の展開を拡大し、中国に提出した発明専利出願は同期比3.9%増の2.3万件で、外国出願人による出願の伸びより高かった。特にシンガポールは同期比21.0%増で、韓国は同期比4.4%増であった。

http://www.iprchn.com/cipnews/news_content.aspx?newsId=127181

2020年の北京裁判所の知的財産権係争審理活動報告

北京裁判所は人々のニーズを見据えて、課題や難題をしっかりと把握し、短所、弱点を克服し、より積極的な姿勢で裁判の品質と効率を向上させ、人々の新たな要求や期待に絶えず応えている。

2020年、北京市の三つの階級の裁判所は各種知的財産権民事、行政案件66710件を受理した。内訳は知的財産権民事案件が42330件、知的財産権行政案件が24380件である。また各種知的財産権案件66973件の裁判を終了した。内訳は知的財産権民事案件が42983件、知的財産権行政案件が23990件である。

北京の裁判所が判決した知的財産権侵害案件の平均賠償額は過去5年より明らかに増加した。商標案件の平均賠償額は2015年の118526人民元から2020年の417823元、専利案件は428056人民元から619078元、著作権案件は25443元から39645元、不正競争案件は434624元から846845元に増加した。北京の裁判所で年間163件の知的財産権刑事案件を受理し、171件の裁判を終了し、知的財産権に関わる犯罪を効果的に処罰、抑止した。

技術調査官の共有を推進し、三つの階級の裁判所が技術調査官の起用により技術的疑問点を解決し、技術上の障害を払拭できるよう保障した。同時に、専門の陪審員、技術調査官、司法鑑定機関、専門アシスタントが参加する「四位一体」による技術事実究明メカニズムを模索し、多方面から技術審査意見を聴取し、技術調査官の中立性を保障している。北京の裁判所の専利案件の平均審理日数は274.5日で、アメリカの裁判所の29ヶ月やEUの裁判所の18ヶ月より遥かに短く、特に発明専利一審案件の審理効率は世界の評価対象都市の中でトップである。

裁判所のスマート化のおかげで、新型コロナウイルス感染症の対応期間中にも案件の審理が秩序よく行われた。2020年に北京の裁判所は知的財産権案件3万件超をオンラインで審理した。また、法の普及を積極的に行い、社会統治に参与し、新聞、テレビ、インターネット、ウィーチャットの公式アカウントなどのメディアを利用して関係する典型的判例を発信し、イノベーションを奨励し、知的財産を尊重する良好なムードを作り上げた。

<http://bjgy.chinacourt.gov.cn/article/detail/2021/01/id/5761307.shtml>

最高検が知的財産権検察オフィスを順次設置

中国最高検察庁は2月8日に「法に基づく知的財産権司法保護の強化 イノベーション型国家建設の保障」と題する記者会見を開き、最高検知的財産権検察オフィスの鄭新儉主任が、最高検は今後知的財産権検察オフィスを順次設置すると述べた。

2020年11月、最高検は検察官の案件処理専門機構として知的財産権検察オフィスを設置し、知的財産権の刑事、民事、行政の検察機能の最適化と統合を全体的に推進し、知的財産権の総合的な保護を強化するとした。このほか、最高検は一年にわたって北京、天津、上海など八つの省・市の検察機関で知的財産権検察機能の集中的かつ統一的な試行プロジェクトを実施しており、その経験を速やかに総括し、条件が整い次第、徐々に推進し、知的財産権検察機能を最適化し、統合して、知的財産権に対する司法保護のレベルを向上させる予定である。

鄭新儉主任によると、近年検察機関は知的財産権侵害事件の取り締まりに大いに力を入れてきたが、人々の司法に対する期待との開きは尚も大きい。知的財産権検察オフィスを設置し、知的財産権の刑事、民事、行政の検察機能を統合することは、人々のニーズに応じ、検察の職務遂行を強化し、検察の「コンビネーションブロー」を効果的にし、知的財産権の総合的、多層的、全面的な司法保護を実現するものである。

知的財産権業務は専門性の高いものであり、特にインターネット情報技術の発展により、知的財産権検察業務のより一層の専門化が求められている。ネットワーク情報化時代に突入してから、知的財産権侵害の手口が一変し、隠蔽性や組織性が強まり、知的財産権犯罪にハイテク化、インテリジェント化、産業化、連動化という特徴が現れ、知的財産権保護がより一層難しくなっている。知的財産権検察オフィスの設立は、新しい情勢、新しいニーズに対応するために、専門化した機構を実現し、これによって高レベル人材チームの構築、検察業務の品質と効率の向上を推進し、検察機関の知的財産権保護機能を更に発揮させるものである。

また、最高検が知的財産権検察オフィスを設置することは、全国の検察機関の知的財産権検察業務に対する統括、指導の強化、制度整備の強化、知的財産権検察の職務遂行の強化、知的財産権検察の案件処理の規範化、知的財産権検察業務における難題の検討・解決の促進、検察全体の職務遂行能力の更なる向上、知的財産権強国建設への奉仕の更なる向上にも資するものである。

http://www.iprchn.com/cipnews/news_content.aspx?newsId=127446

中国国家林草局 2020年植物新品種申請1047件を受理

中国国家林業草原局は2月10日、2020年の同局の植物新品種登録申請受理件数は前年比30%増の1047件で、年間申請数が初めて1000件を超え、累計申請受理件数は5566件となったと発表した。

また、国家林草局は、6か所の国家林草植物新品種試験場を正式に設立し、植物新品種の試験システムを更に改善し、新品種DUSテスト（保護を求める植物新品種の区別性 (Distinctness)、均一性 (Uniformity)、安定性 (Stability) についての判定又はそのプロセス) のペースを速め、同時に植物新品種権侵害取締りキャンペーンを展開し、地方の林草局による植物新品種についての行政法執行の査定を無事に終了したと発表した。

<http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/zwxpz/202102/1959664.html>

AI・IoT・ビジネスモデルの関連情報

**コロナ禍における AI ロボット：
医師・看護師の労力を節減、感染ルートを削減**

体は白い円筒形、顔は電子スクリーン、目はウェブカメラ、さらに紫外線ランプアレイ、ドライミストノズル、超音波センサー、レーザーレーダーなどの「武器」を装備した、この「疫病と戦う特殊部隊」と称される智賽拉・病院 AI 感染制御ロボット K1（以下、「ロボット K1」という）が、このほど開催されたチャリティーパーティーで注目を集めた。

ロボット K1 は広州賽特智能科技有限公司（SAITE INTELLIGENCE）が開発したものである。多種モードの環境消毒・殺菌機能に機械本体の自己消毒機能を結合させ、病院内の環境に全面的な消毒・滅菌の保障を提供するだけでなく、院内感染の経路を遮断することもできる。

COVID-19 の発生以来、ロボットは感染拡大防止において重要な役割を果たしてきた。2020 年 2 月 1 日、AI 配送ロボットや AI 消毒ロボットなどのインテリジェントデバイスが武漢市漢口病院、武漢協和病院、雷神山病院、武漢大学中南病院、武漢第九人民病院など、30 以上の病院に配備された。

COVID-19 感染エリアの隔離病棟では、AI ロボットが薬や食事を隔離エリアに配送し、衣服や医療廃棄物を回収する役割を担った。明確な分業性があり、自律的なドアの開閉、自律的なエレベータの乗降、自律的な障害物の回避、自律的な充電などの機能を実現できている。また、スマート手配管理プラットフォームを通じて、複数のロボットの連携作業を実現でき、人による処理を必要とせず、医療従事者の隔離エリアに入る頻度が大幅に減り、良好な隔離と保護の役割を果たしている。

賽特智能の社長兼 CEO の李睿氏によると、同社が開発した AI ロボットはソフトウェアとハードウェアを組み合わせる方式で、スマート配送、感染制御、消毒・殺菌などのタスクを完了する。また、智賽拉手配管理プラットフォームと病院管理システムをリンクすることで、病院の情報化管理レベルを全面的に向上させることができる。

実際の運用効果を計算すると、一台の智賽拉 AI 配送ロボットの運搬量は、少なくとも三人の配送スタッフの運搬量に相当する。病院に対してより重要なのは複数のロボットの連携とインテリジェント制御によってもたらされる運用効率とロジスティクス管理レベルの向上である。同時に、ロボット内部には自動消毒・浄化機能があり、シェルも耐食性の医療素材でできているので、アルコール噴霧するか、消毒シートで拭くだけで消毒できる。これにより、隔離

エリアにおける院内感染を効果的に抑制し、防護服など貴重な医療物資の消耗、医療従事者の時間コストを大幅に削減している。

コロナ禍において、広東省の暨南大学順徳附属病院では、智賽拉 AI 配送ロボットが発熱外来の薬の配送に使用されている。1 台のロボットの 1 日あたりの配送回数は最大 200 回に達し、医療従事者の仕事の負担が大幅に軽減され、大量の貴重な防護用品を節約できている。

このほど開催された中国イノベーション起業成果交易会で、賽特智能マーケティング部の蔣美玲部長は、「感染拡大の防止・制御は、大量の無人化のニーズを促した。コロナ禍におけるロボット K1 と智賽潔無人運転清掃車の行動が各業界で認められたことは、AI ロボットの限りない未来を証明するものである」と述べ、AI ロボットの将来性について非常にポジティブな見方を示した。

<http://www.chinanews.com/cj/2021/01-30/9400345.shtml>

中国学者による「人工筋肉」研究が新たなブレイクスルー、 多分野での応用に秘める潜在力

ハルビン工業大学は2月1日、多くの国の複数の大学と協力して「人工筋肉」の研究分野で新たなブレイクスルーを起こし、人工筋肉の駆動性能の電気容量依存性の課題を解決、今後の無毒、低駆動電圧の高性能アクチュエーターの設計に新しい理論的基盤を提供するものであると発表した。

スマートマテリアルは、外部の刺激に自発的に反応できる新素材であり、自動駆動、自己モニタリング、自己修復などの機能を備え、AI、スマート製造、バイオ医療、ロボットなどの分野で幅広い応用が見込まれている。

ポリマー繊維とカーボンナノチューブ (CNT) ヤーンは人工筋肉の典型的なスマートマテリアルであり、主に熱、電気化学の二つの方法によって駆動を実現する。

ハルビン工業大学の冷勁松教授は、米テキサス大学ダラス校、江蘇大学、韓国漢陽大学、豪ウーロンゴン大学などと協力して、高分子電解質の機能化の戦略を通じて、人工筋肉のスマートマテリアルの「両極」駆動を「単極」駆動に変換できることを初めて発見し、同時に、電気容量が減少するにつれて人工筋肉の駆動性能が向上するという異常現象を発見した。

「Unipolar-Stroke, Electroosmotic-Pump Carbon Nanotube Yarn Muscles」(「単極ストローク、電気浸透ポンプ CNT ヤーン筋肉」と題する研究成果が、『Science』誌にオンライン掲載されている。従来の人工筋肉と比べると、この人工筋肉は、無毒、高い駆動周波数、低駆動電圧、高比エネルギー、高駆動ひずみ、および高エネルギー密度などの特徴を持っている。宇宙構造、バイオニック羽ばたき翼航空機、変形可能な航空機、水中ロボット、フレキシブルロボット、パワーDスーツ、医療用ロボットなどの分野での応用に大きな潜在力を秘めている。

<http://www.chinanews.com/gn/2021/02-01/9401366.shtml>